

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	成人式開催事業	コード	103106
-------	---------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習課	作成者 小口喜照
--------	--------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	生涯学習の推進	施 策	社会教育の充実
		予算科目	成人式開催事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	参加した新成人を祝い激励し、新成人の自覚を促す。		
目的	対象者	平成9年4月2日から平成10年4月1日の出生者で市内に在住する者及び市内に親等が在住する者	
	意 図		

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	1月第2日曜日に実施した。 日時 1月7日（日）2時から 場所 カノラホール		
前年度の課題への対応	参加率が伸び悩む点においては直接的な解決策は見つかっていないが、撮影した各区写真を市役所に展示して、多くの市民に見てもらい取り組みを始めた。こうした取り組みがメディアを通じて若者の目に留まれば参加率上昇効果もあるように思う。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
	区 分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 活動指標（指標名）	参加者数				単位 人
	実績値	388	403	397	
	*指標の説明	成人式該当者のうち参加した人数			
② 成果指標（指標名）	成人式参加率				単位 %
	目標値	75	75	75	
	実績値	69	72	67	
	達成度	92.0%	96.0%	89.3%	
	*指標の説明				
	*目標値の設定方法の説明				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	394,626	400,607	412,019	434,000
経常経費	394,626	400,607	412,019	434,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
正規職員の人数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20
③ 合計コスト(①+②)	1,994,626	2,000,607	2,012,019	2,034,000
前年度比		100.3%	100.6%	101.1%
財源	1,994,626	2,000,607	2,012,019	2,034,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	5,141	4,964	5,068	
前年度比		96.6%	102.1%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	0
成果指標の実績値 前年度比	93.1%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	0
成果指標の目標値 達成度	89.3%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 若者がいる場の活用	
	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 若者の意見を直接聞くことができる貴重な機会をさまざまな行政情報の発信の場に活用したい。H29は成人の市政意識調査を実施したが、次回も話題がほしい。	
改善方法		
改善開始時期	平成30年度～	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---